



相手を慮るクラスに

先生 2年次の新しいクラスになって半月が経ちましたが、みんなどう？ 人文・音楽・美術の3系列の生徒が1つのクラスを形づくるのは、今年度初の試みです。

生徒 系列が違うと同じクラスでも授業が異なるから、話す機会がなかなかない人もいて……。昨日行ったクラスづくりのためのシアターゲームは、みんなが仲よくなれるチャンスだと思って、クラス一同頑張りました。

生徒 どのゲームも盛り上がったけれど、シャトルを投げ渡すゲームでは、名前が呼ばれずに自分に渡されると思わず落としてしまったり、誰に渡せばよいか分からずに戸惑ったりした人もいました。その経験から声をかけ合う大切さを学びました。

生徒 私もそう思った！ だからまず、朝、挨拶する時に名前を呼んでから「おはよう」って言おうと思います。

生徒 私は、昼食を1人で食べている子に声をかけるようにしています。1回一緒に食べれば、向こうから声をかけやすくなるだろうし、私ではなくても気の合う友だちが見つかるきっかけになると思って。

先生 自分とは合わないと思う人がいても、相手を慮りながらコミュニケーションを取ることが、集団生

活では大切です。先生がうれしかったのは、ゲーム後に「掃除をしてから、机と椅子をしまおう」と全員で掃除を始めたことです。掃除当番がとても助かったと思います。3年次ではクラス替えがなく、卒業までこのメンバーで過ごすのだから、昨日のように自分たちで考えて行動できるクラスになることを期待していますよ。

生徒 これから学校祭、体育祭と続くけど、人文・音楽・美術の各系列がそれぞれ強みを発揮して、力を合わせて、優勝をねらっていきます！

先生 社会では、周囲と協力して物事を進めることが大切になります。勉強だけでなく、そうしたこともこのクラスの取り組みを通して学んでほしいと思います。

生徒 先生が担任だった1年次のクラスで、普段あまり褒めない先生が、大きな行事の後によかったことを具体的に挙げて「みんな、よく頑張りました」と言ってくれた時、私たちの努力を見てくれていたんだと感動しました。このクラスもそうなれるよう頑張ろうね。

生徒 そうだ！ 1年後に昨日と同じゲームをやろうよ。

先生 いいね！ このクラスがどんなふうになっているか、今から楽しみです。

新野佐千枝先生 教職歴33年。同校に赴任して20年目。2年次担任。生徒指導部。前進路指導部長。

北海道札幌厚別高校 全日制／総合学科(人文・数理・音楽・美術系列)／共学／1年次・3年次各約280人、2年次約320人／2018年度入試合格実績(現浪計)国公立大は、北海道教育大などに14人が合格。私立大は、北星学園大などに延べ167人が合格。